

肝がんの合併	肝 が ん 1 あり 2 なし
治療内容	<p>該当番号を○で囲む(併用の場合は複数選択)</p> <p>1 エンテカビル</p> <p>2 ラミブジン</p> <p>3 アデホビル</p> <p>4 テノホビル(テノゼット錠)</p> <p>5 テノホビル(ベムリディ錠)</p> <p>6 その他(具体的に記載)</p> <p>治療予定期間 5 2 週 治療開始年月(予定含む) 年 月</p>
診断書記載医師	<p>この診断書の記載には、次のいずれかに該当する必要があります。</p> <p>該当する項目にチェックを入れてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 診断書を記載する医師は日本肝臓学会肝臓専門医である。</p> <p><input type="checkbox"/> 診断書を記載する医師は山口県が指定する肝炎研修会の受講を修了した日本消化器病学会消化器病専門医である。</p>
治療上の問題点	
医療機関名 及び 所在地	記載年月日: 年 月 日
医師氏名	

(注)

- 1 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。
- 2 記載日前3か月以内の資料に基づいて記載してください。ただし「治療開始前データ」については、核酸アナログ製剤治療中の場合は、治療開始時の資料に基づいて記載してください。
- 3 治療開始前データが不明の場合は、治療開始後、確認できる範囲内の最も古いデータを記載してください。
- 4 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。
- 5 本診断書は日本肝臓学会肝臓専門医又は山口県が指定する肝炎研修会の受講を修了した日本消化器病学会消化器病専門医が記載することとする。